

( 60 ) 分間

試験 平成 19 年 2 月 8 日 実施

科目	講師名	学年	学籍番号	氏名	評点
国際看護学 I	高木 廣文				

## 1. 国際保健医療学で必要な3つの学問について述べよ。

国際保健医療学を支える3つの学問として、各種の健康問題を客観的かつ数量的に把握するために「疫学」が必要である。そして、人々の行動やその背後にある文化の理解のためには「(医療)人類学」が必要であり、世界の人々や国々の動きと関係を理解し働きかけるためには「政治経済学」が必要とされる。

疫学の中でも、記述疫学は軽視されがちであるが、基礎的な情報を得て共有し、「どこで、何が、誰に起きているのか」という情報のアップデートが必要である。このためには、健康事象の迅速な情報の収集システムが必要とされる。

世界を敏感にとらえ、「歴史に学ぶ」ことが重要である。各時代の問題は、当事者にとっては新鮮で解決困難な問題であるが、本質的に新しいことはほとんどない。かつて誰かが遭遇した出来事の繰り返しであることが多く、過去の事例を学び、現在と将来にフィードバックすることが重要である。この点から、医療人類学的な視点が重要となる。

ひとつの事件は世界中のあらゆる社会的出来事と結びつき関連しているので、世界を敏感に捉える必要がある。とくに、政治上の変化や経済上の悪化は、健康への影響が大きい。貧困、政治的要因、戦争、テロなどは、人々の心身の健康に大きく影響する。健康問題に対しては対症療法のみでなく、政治経済学的な考察が必要である。

( 60 ) 分間

試験 平成 19 年 2 月 8 日 実施

科目	講師名	学年	学籍番号	氏名	評点
国際看護学 I	高木 廣文				

## 2. ミレニアム開発目標について述べよ。

(1990年代は第二次世界大戦より続いた東西対立の構図がくずれ、地球規模のグローバルな課題が噴出した時代であった。環境問題や女性と開発など国際会議で議論されたトピックが、短期間で国連機関や各国政府の基本方針に組み込まれていった。とくに、環境、人権、リプロダクティブヘルス・ライツ、HIV/AIDS、開発と貧困などが、地球規模での健康問題と深く関連し、狭義の保健医療分野の専門家だけでは対処できないことが認識された) (この部分は、なくてもよい)

2000年9月に国連ミレニアム宣言として、平和と安全、開発と貧困、環境、人権とグッド・ガバナンスなどを課題して「ミレニアム開発目標(Millennium Development Goals: MDGs)」が提唱された。これは、1990年代に多くの国際会議やサミットで提唱された開発目標を統合し、一つの共通の枠組みとしてまとめ、以下の8項目を掲げたものである。

- 1) 極度の貧困と飢餓の撲滅
- 2) 普遍的な基礎教育の達成
- 3) ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
- 4) 乳幼児死亡率の削減
- 5) 妊産婦の健康改善
- 6) HIV/AIDS, マラリア, その他の疾患の蔓延防止
- 7) 環境の持続可能性の確保
- 8) 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進

上記のMDGsは、健康問題が保健医療分野に限定されておらず、貧困、ジェンダー、教育、環境などの地球規模での課題と密接に関連し地球規模の広がりの中で議論されている。特に、保健医療分野と直接に関連している4), 5), 6)の項目は、具体的なターゲットが示されている。すなわち、2015年までに国連加盟国が達成する目標として、

- ①5歳未満児の死亡率を2/3減少させる。
- ②妊産婦の死亡率を3/4減少させる。
- ③HIV/AIDSの蔓延を阻止し、その後減少させる。
- ④マラリアおよびその他の主要な疾病の発生を阻止し、その後罹患率を下げる。

がある。